

第1シリーズ / シンポジウム

〈同時開催〉

総合診療を学ぶ 特訓ゼミ

オレの未来
ココにあり!

Ibaraki
medical
seminar

タイトル ブラックジャックによるしく／著作者名 佐藤秀峰／サイト名 漫画 on web

全国の若手医師・医学生対象!

日本感染症教育研究会 (IDATEN) との合同開催
ー感染症科医師、水戸に集結!ー

実力派講師による講演やグループワークにより、感染症の観点から
地域医療を考える集中ゼミ。シンポジウムも同時開催!

対象 全国の若手
医師・医学生 **200名**

平成27年 **7/24** (金) **13:00-18:00**

※終了後、懇親会 (18:30~21:00) あり

日時 平成27年 **7/25** (土) **8:30-21:00**

※(シンポジウムは13:00~17:00) ※夕食を含む

平成27年 **7/26** (日) **8:30-13:00**

※詳細なスケジュールは裏面をご覧ください

参加費 特訓ゼミ〈3日間〉

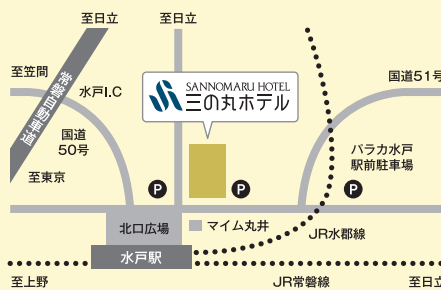
医師: **25,000円** / 医学生: **20,000円**

※24日の懇親会費、25日の昼食・夕食代を含みます
(宿泊費については、別途実費をご負担いただきます)

会場 三の丸ホテル

茨城県水戸市三の丸2-1-1

※JR水戸駅北口から徒歩2分



総合監修
徳田 安春 氏

茨城県地域医療
支援センター特別講師
(JCHO本部顧問)

今回の特訓ゼミのメインテーマは「総合診療と感染症診療における実践スキルの習得」です。IDATENとの協力で実現したこのゼミは、史上初の総合診療と感染症診療を含めた共通領域と周辺領域についてケーススタディーを中心に学習していきます。「感染症診療のビットフォール〜総合診療医の視点から〜」では、発熱の鑑別疾患について臨床推論の叡智による絞り方を学習します。「日本を取り巻く新興感染症〜デング熱、エボラウイルス病を中心に〜」では、情熱感染症医の忽那賢志先生が国際的視野で感染症の実践ポイントを提供していただきます。「結核とその周辺」では、感染症コンサルタントの青木眞先生が感染症の古典的かつ現代的な脅威である結核の臨床について、クリニカルパルをたくさん発散していただきます。特別講演の「ジェネシャリストの考え方〜大きな差が出る診療の工夫〜」では、茨城県地域医療担当顧問の永井秀雄先生が、スペシャリストからみたジェネラリストのあり方について私見をご講演されます。記念講演の「WHOそしてJCHO: 国内外の経験を踏まえ皆さんへのエール」では、JCHO理事長で元WHO西太平洋地域事務局長の尾身茂先生がグローバルなスケールで保健医療をどう実践していくかについてご講演されます。最後のパネルディスカッションでは、「学生・研修医・若手医師・総合診療専門医・臓器別専門医への臨床感染症教育について」を上記の講演者で熱く語りあいます。どうぞ期待!

お申し込み

茨城県地域医療支援センター
ホームページからお申し込みください

茨城 特訓ゼミ

検索

<http://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/iryo/ishi/isei/ishikakuho/wakateishi/150325/>

※3日間とも参加できる方を優先させていただきます。



募集期間

平成27年6月30日(火)まで

※申込者数が募集定員を超えた場合、
お断りする場合があります

お問い合わせ

TEL. 03-6869-0801

E-mail: ibaraki-tokkun@jimukyoku.co.jp

運営受託会社 株式会社 日本経済広告社



茨城県

主催

茨城県地域医療支援センター

(茨城県保健福祉部医療対策課 医師確保対策室内)

IDATEN 企画責任者: 矢野晴美

協力: 水戸協同病院

タイムテーブル〈3日間〉			
日程	時間	種 別	内 容
7/24〈金〉	11:30-	受付	※三の丸ホテル内4F「ステラ」前
	13:00-18:00	IDATEN企画プログラム 「感染症と総合内科に 同時に強くなる」-その1- ※レクチャー・ディスカッション	「感染症へのアプローチ」 亀田総合病院 感染症科 部長 細川直登 氏 「高齢者の肺炎」 都立墨東病院 感染症科 医長 岩渕千太郎 氏 「高齢者の尿路感染」 順天堂大学 総合診療科・感染制御科学 准教授 上原由紀 氏 「皮膚軟部組織感染」 自治医科大学 感染症科 臨床助教 法月正太郎 氏 「髄膜炎」 筑波大学・水戸協同病院 医学医療系・感染症科 教授 矢野晴美 氏 「感染性心内膜炎」 Sapporo Medical Academy 代表理事 岸田直樹 氏 ほか
	18:30-21:00	懇親会	※三の丸ホテル内
7/25〈土〉	8:30-9:20	講義Ⅰ 国立国際医療研究センター 国際感染症センター 忽那賢志 氏	「日本を取り巻く新興感染症～デング熱、エボラウイルス病を中心に～」 2014年、日本は関東を中心にデング熱の流行が、 また世界的にはエボラウイルス病（エボラ出血熱）の流行が深刻な問題となりました。 これらの感染症は一旦落ち着きを見せていますが、今後再び流行する可能性もあります。 本講義の目的は、医療従事者としてこれらの感染症に関する必要な知識を整理することです。
	9:30-10:20	講義Ⅱ 感染症コンサルタント 青木 眞 氏	「結核とその周辺」 結核は、昔から恐れられ医療の進歩により新たな問題として認識されている、古くて新しい感染症です。 学生や初期研修医を対象に、病態理解のコツ、新しい診断や治療、 更に医療体制などについて一緒に考えたいと思います。
	10:30-11:20	講義Ⅲ 茨城県地域医療支援センター 特別講師 徳田安春 氏	「感染症診療のピットフォール～総合診療医の視点から～」 発熱患者ではまず感染症を考える、これは重要です。 しかしながら、常に「発熱＝感染症」とは限りません。 この講義では、発熱や炎症症状を来す感染症以外の疾患の診断ピットフォールについてみていきます。
	11:30-13:00	昼食	※三の丸ホテル内
	13:00-	シンポジウム	開会挨拶
	13:15-14:15	特別講演 茨城県 地域医療担当顧問 永井秀雄 氏	「ジェネシャリストの考え方～大きな差が出る診療の工夫～」 ジェネシャリストは神戸大学感染症内科岩田健太郎教授の造語（ジェネラリスト＋スペシャリスト）で、 その考え方の重要性は外科専門医の演者にもよく理解できます。 日常症例を通し総合診療能力が専門医にも必要なことを示したいと考えています。
	14:15-15:15	記念講演 JCHO理事長 元WHO西太平洋地域事務局長 尾身 茂 氏	「WHOそしてJCHO:国内外の経験を踏まえ皆さんへのエール」 WHOでマネジメントを経験し、また、現在JCHOでもマネジメントを行っている経験を踏まえて、 総合診療能力の大切さや地域医療への思いなど、若い医師たちにメッセージを発したいと思います。
	15:30-16:50	パネルディスカッション	「学生・研修医・若手医師・総合診療専門医・臓器別専門医への臨床感染症教育について」 コーディネーター：徳田安春 氏 コメンテーター：永井秀雄 氏 パネリスト：尾身 茂 氏 / 忽那賢志 氏 / 青木 眞 氏 矢野晴美 氏
	17:00-18:00	夕食	※三の丸ホテル内（立食形式）
	18:00-21:00	夜間セッション 筑波大学・水戸協同病院 医学医療系・総合診療科教授 小林裕幸 氏 など	ケースカンファレンス ※飲食あり
7/26〈日〉	8:30-13:00	IDATEN企画プログラム 「感染症と総合内科に 同時に強くなる」-その2- ※レクチャー・ディスカッション	「人工物・デバイス感染」 帝京大学医学部附属病院 感染制御部 部長 松永直久 氏 「好中球減少時の発熱」 静岡県立静岡がんセンター 感染症内科 部長 倉井華子 氏 「ステロイド使用患者の感染症」 武蔵野赤十字病院 感染症科 副部長 本郷偉元 氏 「クロストリジウム・ディフィシル感染」 倉敷中央病院 感染症科・感染制御室 副医長 上山伸也 氏 「ワクチンの基本」 国立成育医療研究センター 感染症科 医長 宮入 烈 氏
	13:00	解散	

※上記スケジュールは現時点での予定です（お申込みいただいた方には、改めて正式なスケジュールなどをご案内させていただきます）

第2・3シリーズも参加受付中！
※詳細はホームページをご覧ください

第2シリーズ
平成27年10月10日(土)

第3シリーズ
平成27年11月28日(土)-29日(日)